

'95 '96 北陸信越ブロック役員 —2年間ごころさまでした—

明るいブロック運営を
お願ひします—

北陸信越ブロック長
岡 能久

幹事
佐伯 栄 敵
(次期ブロック長)

明るいだけはお任せください

副ブロック長
戸谷 全邦

今回も北陸道を夕陽に向かつてひた走りに走っています。六年の間にこの道、この山を何度通ったことでしょうか……。それは彼の地にお茶の仲間が待つているから……。広い北陸信越ブロックの中に多くの友達を持つて青年部活動。素晴らしいと思つています。どうか皆さんも多くの出会いを持つてもらいたいと思つています。(戸谷)

お茶が好きで青年部に入り、北陸信越ブロックに関つて十年。充分な活動が出来ぬまま退任することになりました。新ブロック長はじめ役員の方々にお願ひする点は、青年部組織強化を目指すばかりに「お茶を愛好する青年」から離れたリーダー養成機関であつてはならぬことです。何よりもお茶が好きで青年部会員のなかから、ブロックや青年部の世話が出来る人材を発掘・養成して下さることを期待します。(坪田)

副ブロック長
坪田 繁樹

副ブロック長
松永 修侍
(大愛)

この二年間は、自分にとって大切な意義深い経験をさせていただきました。それは昨年のブルガリア青年奉仕隊と中国青年の船です。どちらの活動でも自分には欠けていたリーダーのあり様を考えさせられました。今後も北陸信越ブロックの発展のために努力いたします。

副ブロック長
大愛 康洋

監事
梶 幸夫

監事
在田 吉保

山陰をバックに青・黄・緑に照らされた芝生。手作りの茶席。手話などのカルチャー教室。思い出深いキュービッドパレイのブロック大会。分かんずに取組んだ青年部活動だが、今後に大きな影響をもたらしてくる二年間であつた。一層新青年部が充実し、真の青年部になるよう残り二年間を努力していきたい。(在田)

研修委員長
尚和 淑子

研修委員長
山本 茂

企画委員長
酒井 享子

総務
五十嵐寿江

総務
中宮 範栄

奉仕委員長
増田 孝一

交流委員長
大沢 範洋

BLOCK OFFICE

9月の会員大会では新潟県5青年部の皆様が大変お世話になりました。その会員大会の報告書も兼ねて、今回のブロック通信は特別号(8ページ)でお届けします。前年と同様に担当青年部の方々で編集作業を進めてもらいました。どうもありがとうございました。

この4年で通算11号の「ちゃばたけ通信」を発行しました。当ブロック内1600名の会員方のブロック活動への認識と理解の一助になればと思つて続けてきました。皆様のご協力に感謝いたします。

総務
中 静子

総務委員長
織田 勉

我々は茶という道に興味を持ってこの活動をスタートしました。それは人と人の交わりであり、人と物との結びつきでもあります。その中にお茶の素晴らしいところがあるように思えます。世の中のすべてを包み込んでしまふようなスケールの大きな「こころ」を感じ取ることもできるでしょう。それは自分自身の心の中と相対するものではないでしょうか。茶道は道徳を求めつつ、日々精進していきましょう。四年間、素敵な女性三人と仕事をさせていただいた事、また、素晴らしい仲間と交わえた事に感謝いたします。有難うございました。(織田)

北陸信越ブロック ちゃばたけ通信 ■1996年 冬季号



Tea Field

発行(社) 茶道裏千家淡交会青年部 北陸信越ブロック事務局

第29回北陸信越ブロック会員大会 特集

— FOR YOU, FOR ME, ~ 大切にしたい一盤の心 —

ブロック会員大会を終えて

北陸信越ブロック長(全国委員) 岡 宗能

第29回ブロック会員大会が「FOR YOU, FOR ME, 大切にしたい一盤の心」というテーマのもと、新潟県内3支部5青年部の協力により「夢、あこがれ、愛」を謳って展開されているリゾート地、キュービッドパレイにて250余名の参加を得て開催することが出来ましたことに深く感謝申し上げます。また、お忙しい中、快く今回の講師をお引き受け下さり、素晴らしい講義をして頂いた小林哲夫先生、並びに総本部よりご参加頂いた村上利行総務部長、新潟支部の親先生方におかれましては、2日間親身になって私達をご指導頂き有り難く御礼申し上げます。

なつてきたことは、たいへん喜ばしいことであります。海外への青年奉仕隊活動や青年の船に参加した人達が中心になって担当されました早朝茶会も、喜びや苦勞を共に体験した仲間としての深い絆に結ばれたチームワークの良さで目を見張るものがありました。

私の期待どおり、茶道を通して知り合った青年達のネットワークが確実に一步一步築かれて参りましたが、ブロック内にはいろいろな形の青年部が混在しております。日本でも有数の茶どころという背景に恵まれて輝かしい活動を行なっている青年部、地域の実情に合わせて地道な活動を行なっている青年部、唯我独尊、ひたすら我が道を歩み続けている青年部と、その形は様々ですが、皆、裏千家茶道が好きでこの道に集まって来た仲間によって構成されている青年部です。

どうかその茶道に触れた気持ちを大切に、また、私達にこのような素晴らしい青年部活動の場をお与え頂いた麗雲斎御家元、坐忘斎若宗匠理事長はじめご宗家の皆様方に感謝し、皆様の青年部活動が益々活性化して行くことを折念申し上げます。

最後になりましたが、4年間ブロック活動に多大なるご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

研修会から会員大会と名称を変更し、より多くの青年部会員が集い、友好、交流を深める場として拡大発展を図っておりますこの大会が、参加者一人一人の積極的な姿勢によりブロック内の人間関係を育てる場に

ブロック会員大会を主管して

新潟支部あさひ青年部 部長 金巻 栄作

「薄墨を流せる雲に日さし 越路の空はかくもうるわし」まさにそんな天候の中、250余名の参加者の下、第29回北陸信越ブロック会員大会が無事、成功裡に終了いたしました事を心より感謝申し上げます。

心身の健康を感じることができて心洗われる思いでした。村上総務部長より「これからが新青年部の真面が問われる時」とのお話がありました。スタッフも改選となり、また希望と不安を抱いた新しいスタートを迎えようとしております。私達新潟の青年部も今大会のこの貴重な経験を基に、少しでも今後の青年部活動に生かし希望に満ちた青年部にしていこうと自覚を深めました。

裏千家総本部より村上利行総務部長、小林哲夫先生、高木修青年部全国委員会議長のご出席を賜り、ご指導、ご講演を頂き厚く御礼申し上げます。

最後に参加の皆様には十分なおもてなしのできなかった点、また、不慣れでご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。本当に有り難うございました。

「FOR YOU, FOR ME, 大切にしたい一盤の心」を大会テーマにし、心の時代と言われて久しいこの現代に、本当の絆、生かす心、生かされる心を少しでも感じる事ができたなら……という願いを込めた二日間でありました。一日目の二回の茶席ではなるべく飾らず、心を前に出そう。カルチャービレッジでは身近で美しいものを再発見しよう。そんな思い入れをしたつもりでした。二日目のブルガリアの奉仕隊、中国の青年の船の方達による呈茶も、異国ムードたっぷりの本当に楽しい席となりました。有り難うございました。そして小林先生の講演でも、童心に戻つて人間性の最も基礎となる

会員大会アピール

今年の北陸信越ブロック会員大会のテーマは「FOR YOU, FOR ME, ~大切にしたい一盤の心」です。

他人のためと思ってやっていた事が、いつかちゃんと自分のために役にたってくる。そんな思いやりの心を大切にしたい……という意味です。今回は大会本来の意義である会員交流に重点をおいて、少人数単位のカルチャービレッジを設けました。大自然の中で、ゆったりとした気持ちで、素晴らしい出会い、感動、コミュニケーションが沢山生まれますように、数多くの会員の方々の参加を心からお待ち申し上げております。

大会実行委員長 あさひ青年部部长 金巻 栄作

大会内容

【1日目/9月21日(土)】

- 11:30~13:00 ブロックスタッフ会議
ブロック協議会
- 11:00~13:00 受付・呈茶
- 13:30~14:00 開会式
- 14:10~16:40 カルチャービレッジ
(10クラブより1クラブ選択)
- 18:30~20:10 懇親会
- 20:20~21:40 二次会・呈茶(野点席)

【2日目/9月22日(日)】

- 7:00~8:00 朝食
- 7:30~9:30 呈茶(ブルガリア・中国席)
- 10:00~11:20 講演会 講師:小林哲夫先生
演題:「私のレク哲学」
- 11:30~12:00 閉会式

9月21、22日の両日にわたり、第29回北陸信越ブロック会員大会が総本部の村上総務部長、高木青年部全国代表者会議議長はじめ多数のご来賓をお迎えして盛大に開催されました。

会場は、新潟県東頸城郡安塚町にあるキュービットパレイというリゾート施設。この辺りは、上越地方の南西に位置する日本屈指の豪雪地帯ですが、霊峰菱ヶ岳の麓に滾々と湧き出る「雪の湯」なるものは、一度つかると雪のような色白になるとか……。

温泉と澄んだ空気と山あいの静けさと……。まさに大自然の恵みの中で、実にエネルギーな活動や交流が繰り広げられました。

今回のホスト青年部は主管をあさひ青年部とし、とき、上越、おけさ、中越の新潟の5青年部が丸一となって準備を進めさせていただきました。

初日のカルチャービレッジでは10のクラブに分かれ、それぞれ限られた時間でしたが、触れたことのない世界を体験しました。また夜は懇親会で互いに親交を深めた後、ゲレンデの照明と篝火でライトアップされた野点による呈茶を楽しみました。

二日目は、ブルガリアの奉仕隊、中国での青年の船に参加した皆さんによる呈茶で国際感覚のお茶の世界を味わった後、小林哲夫先生による講演でレクリエーションを体験いたしました。誰もが楽しめるレクリエーションというものの考え方が、実際の社会の中でも活かされていくべきであることなどを教えていただきました。

この2日間を通して、お茶の原点である「大切にしたい一盤の心」という今回のテーマを改めて顧みることができたと思います。

《1日目》



ブロック協議会



上越、中越両青年部による呈茶席

開会式



聞き酒倶楽部

最初から最後まで和気藹々として、普段から地道に練習しておられる成果?を楽しく千鳥蓋ならぬ千鳥足になるまで、舌とのどにオケイコをつけておられました。



万象披露

会員大会に参加して、初めて聞き酒というものを経験しました。私は一つの銘柄しか当てることができなかったのですが、茶道の茶カブキに似ていて、これも修練だなと感じました。二日間という短い時間ですが、多くの方と知り合い、得たものは大きかったと思います。

《富山・富山西 栗林 満》

カルチャークラブ

人間好時節



手話倶楽部

講師の山川先生の手話との出会いや現在の活動状況等をお話いただいた後、日常の挨拶から始まり、指文字、県名、茶道具の名前などを先生の真似をしながら教わりました。最後に「四季の歌」を教わり、懇親会での発表に備えました。

茶花観察倶楽部

3班に分かれ、それぞれゴンドラに乗り出発しました。途中講師の先生に説明を受けながら、たくさんの茶花を観察しました。戻ってからも、センターハウスで予め並べてあった茶花を観察した後、茶花に関する質問をさせていただきますました。

逢花打花



今回、初めて茶花観察をしました。名前の由来に花や葉と特徴が関連していること、地域によって形や種類が異なるということが興味深かったです。新潟や長野の違いを比べてみるのも楽しみです。日頃茶花を鑑賞するのは難しいものと思っていましたが、少し足を延ばせば以外と見つかるものだと分かったので、自分で採った花でお客様をおもてなしてみたいと思います。とても勉強になりました。ありがとうございました。

(長野・北信 山上 泰子)

竹倶楽部

一人が二本ずつ曲げてある茶杓を選び、講師の岡田さんやあさひ青年部の竹研究会の方から説明を受けながら削りました。初めての方は少なく皆さんとても上手で、早い人は二本完成させました。



吹毛常磨

笹団子作り倶楽部



5人ずつの班に分かれ、一人が10個お団子ができるように生地とあんこを分けました。皆さんが協力して作ったせいかスムーズにすすみ、上手に笹団子ができました。

処々全真

私事ですが、主人が出張の折、土産は必ず笹団子。笹とよもぎの香りがとても好きです。そんな訳で笹団子作りに参加しました。材料は全て整っていて、私共は団子作り、笹の包み方、縛り方を手順良くにぎやかに笑い合いながら、楽しい一時を過ごすことができました。蒸しあがった笹団子を口にした時の気持ちは忘れられないと思います。家にて早々挑戦してみます。ありがとうございました。

(長野・南信 小松喜久子)

民謡倶楽部

ひたすら特訓を重ね、全員和気藹々と楽しく、正しく、美しく踊れるようになりました。懇親会での発表でも成果を遺憾なく発揮しました。



随処作主

想像力の欠如と言われてしまえばそれまでなのだが、リフトに乗って小屋に隔離されて笠を手渡されるまで、民謡クラブで踊るはめになるとは思ってもいなかった。中学校のフォークダンス以来である。しかもBGMが低い。しかし、人生とは挑戦である。未知の分野を征して行くことこそ男の生き方だ。私は覚悟を決めた。

決めたはいいいけど、何ともならないのは生まれつきの覚えの悪さである。従って、練習も本番も前後の上手な方々を見ながらである。笠を深めに被って、酔っ払って踊るしかなかったのである。一人だけタイミングがずれて踊っていたのがいたなら、それは私である。もしも覚えておいでの方がいるのなら、記憶から削除していただきたい。たとえ笑っていても楽しそうに見えたとしても、あんまり人には見せたくはなかったなあ。

(石川・白山 福田 茂利)

手描友禅染倶楽部

先生方のご好意により予め下絵を描いていただいたハンカチを選び、好みの色で手描き染色をし、金箔、胡粉で仕上げました。同じピンクでもそれぞれの個性が出て、世界で一つしかない作品が出来上がりました。



直心是道場

友禅染めクラブでは、特殊な染料を使い下絵の描いたハンカチに手描きしました。友禅独特のぼかしを出すのはとても難しく、染料の調合によって様々な好みの色が出るので、参加者全員が個性あるステキなハンカチを作ることができました。25回工程があるという友禅染めの一環を体験でき、その奥深さとすばらしさを実感しました。

(長野・中信 山田美香子)

袋物作り倶楽部

担当の方から指導を受けながら、古帛紗を作りました。早一人はどんどん先に進み、2枚目に挑戦した人もいました。



大機大用

紺と赤の縫糸を持参して下さいとの連絡があり、縫い物の大好きな私は何を教えていただけるのかと、とても楽しみにしていました。会場に入り、アーアー古帛紗だわ…無理とは思いつつ他のものを期待していたのです。でも、事細かな説明、笑顔でのお世話、一針一針丁寧な教え方に一瞬でも軽はずみに思ったことを深く反省し、これだけのことを準備されたご苦労を思うと我身が恥ずかしくなりました。

出来栄はマアママアかな。横から「シックでステキね、ご主人へのお土産？」との声、いいえ、今日の思い出に大切に使用したいと思います。

お艶のよく似合う黒一点の参加もあり、随分ご苦労しておられる様子に思わずほほ笑んでしまいました。楽しい一時をありがとうございました。

(富山・いみず野 藤橋 洋子)

大道無門



お菓子倶楽部

21名を4グループに分け、「浮島」作りをしました。大騒ぎの末それなりの形の主菓子が仕上がりました。一部はお土産に、残りは野点席の主菓子となりました。

七宝焼き倶楽部

各自好きな材料を選び、自由な配色で色を載せて焼きました。最後まで先生方には手をかけていただきましたが、最後は26名全員が無事作品を完成させることができました。



明珠在掌

懇親会

薄芒や山花が咲くグレンデを背景にして、木で組まれた所に釣釜、月の明かりとライトで亭主の手元を照らす夜の野点席。

自然に包まれた雄大な席でお茶をいただくと、心の中はいつもより大きくなった気がしました。半東さんから、席へ向かう路々に置いてあった燭台がカップラーメンの容器利用と聞き、アイディアにも感心した忘れられない茶会になりました。



〈石川・金沢南 山田美洋子〉

「川船やよい茶よい酒よい月夜」芭蕉



夜のお茶席

スニーカーでは失礼かしらと一抹の不安を抱えながら参加したブロック大会。キュービットパレイは予想以上にすばらしい大自然の中になりました。二次会の後、篝火の中で始まった野点席、お酒も入ってちよっぴり高揚した気分と身体にひんやりと夜気が心地良い。お心入のまさしく手作りのお席で、ユーモアたっぷりの半東さんのお話を伺いながらの一眼。最後に誰からともなく沸き起こった拍手。拍手のある茶席は生まれて初めての経験でした。幻想的な心に残る一時でした。その後、ロッジでの上越支部の方々と交えての懇親会。持ち込みと御地の地酒を酌み交わしながら、日頃の活動状況や今大会までの苦労話も飛び出し、親交を深めることができました。どうもありがとうございます。来年は芦原温泉の老舗旅館での設定を計画しています。どうぞ福井へお出かけください。

〈福井・日野 大久保栄久〉

この度、初めてブロック大会に参加しました。一番感動したのは、懇親会で盛り上がった後の野点でした。大気が澄んで清らかな風が渡り、緑のライトが暗夜を照らす……美しく情緒的な光景の中での一眼。それは自然の恵みに感謝したくなるおいしさでした。新潟支部の皆さん、チームワークも演出も本当にすばしかったです。また、諸先生方、貴重な数々のお言葉ありがとうございました。

〈富山・富山東 千田美津子〉



火煙	菓子	茶	茶	水	棚	結	花	花	床	野
入	子	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺
入	子	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺
入	子	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺

会記

野点席 古賀健造 菅垣 吉賀健造 菅垣

薄芒と流るる雲に入日さし 越路の空は かきもうるわし

【2日目】

呈茶席・ブルガリア 中国席

ブルガリア青年奉仕隊、中国青年の船に参加したメンバーによる合同茶席

今大会にはブルガリア・中国席があるということで、行ってきた者の務めとして出席した。「お元気ですか」の挨拶を繰り返すうちに懐かしくて、氣後れしていたのが笑い話のよう。自分でも驚くくらい一緒に行った人達を覚えていた。そして、覚えてもらっていたのがうれしかった。呈茶の時、緑のグレンデを目の前にして、水屋ではブルガリアでの思い出話に笑いころげていた。

〈石川・七尾 高 千令〉



旅先で求めた小物たち

講演会

小林哲夫先生「私のレク哲学」

レクリエーションのポイント

- ・一人一人の個性を大切に
- ・一人一人の主体性を大切に
- ・全体の和を大切に



今回ブロック大会に初めて参加した。青年部に入って今まで消極的な会員であった私が、ホスト側のしかも役員に付いてのことだ。どうしたらいいのかわからないまま、計画がどんどん進んで当日を迎えた。小林哲夫先生の講演会で、全員レクリエーションを体験。ああ、なんだ知らない者同士でも大会を通じて話をしたり、時間を共有することで仲間意識が広がって深まる。こういうことなんだと実感！一盤のあたかさと一緒に。

〈新潟・あさひ 菅 久美〉

秋の夜の神秘的に感じる中での楽しいお話とおいしいお茶、楽しかったカルチャービレッジ、レクリエーションの講義と、船りの車の中では各々の思い出話で盛り上がり、こんな感じの会員大会も良いという話でいっぱいになりました。役員の方は大変だったと思いますが、一人一人が思い出を持って帰れたことに感謝しています。新潟の皆さん、本当にありがとうございました。

〈石川・能登 垣内 幸彦〉

初めてブロック大会に参加しましたが、佐渡の人しか知らない私にとってはドキドキでした。でもいざ参加してみれば、やっぱりお茶をやっている仲間同士。歳や地域、差に関係なくいろいろな方とお話することができ、楽しい時間をすごせました。

次回の福井も期待しています。頑張ってください。

〈新潟・おけさ 星野 晃子〉